

県下一斉安全パトロール等を実施

～4年連続で労働災害死傷者が増加しています～

全国安全週間(7月1日～7月7日)中の労働災害防止活動として、赤川砂防出張所では、7月2日に安全パトロールを行いました。

工事現場の安全点検と作業計画書・建設機械作業計画書の内容確認を主な目的として実施したところ、消火器設置の明示のない箇所や、**熱中症対策**が不十分と思われる箇所等がありましたので、至急改善対応をとっていただきました。

また、全国安全週間中において、受注会社もそれぞれ、経営トップによる安全所信表明や安全教育の実施などの労働災害防止活動を行いました。

高所作業中の墜落・転落防止対策の徹底や、**特に熱中症予防対策の重点的実施**により事故発生防止に努めましょう。



作業計画書の内容確認



工事現場の安全点検



墜落防止(ハーネス安全帯)の講習

●用語解説:暑さ指数(WBGT値)

暑さ指数とは、人体と外気との熱のやりとりに着目した指数で、人体の熱収支に与える影響の大きい

- ①湿度
- ②日射・輻射など周辺の熱環境
- ③気温

の3つの観測値から表されます。

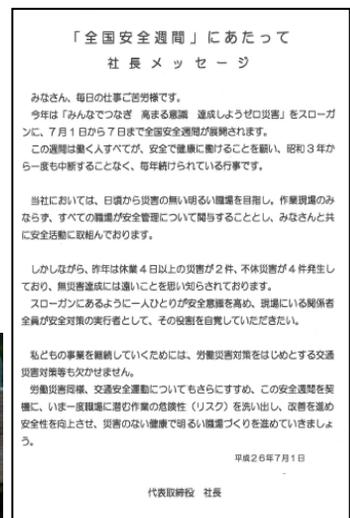
25～28が警戒。31を超えると危険とされますが、暑さになれていない人の場合や作業内容、服装により警戒値はさらに下がりますので注意が必要です。

参考ですが、日射が無い屋内の場合で外気温25度でも湿度が75%あると暑さ指数が25の警戒になります。

詳しくは、「厚生労働省HPの『熱中症予防対策』」等をご覧ください。



暑さ指数による熱中症対策



経営トップによる安全への所信表明

国土交通省 新庄河川事務所 〒997-0404 鶴岡市下名川字落合227

TEL 0235-53-2841 FAX 0235-53-2807

クリック!

あかがわさぼう

赤川砂防出張所

HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/> 詳しくは...

検索